

NEWS RELEASE

2009/9/4
リビング・イン・ピース
ミュージックセキュリティーズ株式会社

日本初の「マイクロファイナンス貧困削減投資ファンド「カンボジアONE」」設立にかかる契約を締結

音楽ファンドや純米酒ファンドを運営するミュージックセキュリティーズ株式会社(代表取締役:小松真実、本社:東京都千代田区、以下「MS社」)、貧困削減に取り組む特定非営利活動法人リビング・イン・ピース(代表:慎泰俊、以下「LIP」)は、カンボジアのマイクロファイナンス機関「CHC」(最高経営責任者:キング・カリヤン、本部:カンボジア)のシェムリアップほかの資金調達をサポートするため、日本初のマイクロファイナンス貧困削減投資ファンド「カンボジアONE」にかかる契約を締結しました。
*本年11月に「CHC」より「サミック」へ名称変更を行います。

「マイクロファイナンス」とは、マイクロクレジット(小口融資)を始めとする、貯蓄・保険・送金などの貧困者向けの小口での金融サービスの総称です。2006年には、マイクロファイナンスの貧困削減における効果が認められ、グラミン銀行と創設者のユヌス氏がノーベル平和賞を受賞しました。マイクロクレジットの潜在的な需要は2,800億ドルとも言われていますが、現状では170億ドルほどしか供給されておらず、広く民間からの資金供給が期待されていましたが、日本から直接、支援する仕組みはこれまでありませんでした。

CHCは、カンボジアで活動するマイクロファイナンス機関です。MS社およびLIPと提携するフィリピン最大のマイクロファイナンス機関「CARD」(最高経営責任者:ハイメ・アリップ、本部:フィリピン)が、サミックに出資しているとともに、経験やノウハウを共有するために、人的なサポートも行っております。LIPは、CARD MRIと協力し、マイクロファイナンスを通じた貧困削減を目指し、企画・情報提供を行ってまいります。

ご注意: 本プレスリリースは、契約締結の事実について一般に公表するための記者発表文書であり、ファンドに関する投資の勧誘を目的とするものではありません。なお、マイクロファイナンス貧困削減投資ファンド「カンボジアONE」の募集の取扱いは、第2種金融商品取引業者(関東財務局長(金商)第1791号)MS社にて行われ、LIPはファンドの募集・売出しの取扱い行為は一切行いません。ファンドの詳細についてのお問い合わせは、MS社の広報担当者までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

【ミュージックセキュリティー社もしくは本ファンドに関するお問合せ】ミュージックセキュリティーズ株式会社広報担当 神谷(カミヤ)・杉山(スギヤマ)
TEL:03-5948-7301 FAX:03-3287-7210 info@musicsecurities.com**【特定非営利活動法人リビング・イン・ピースに関するお問合せ】**

NPO法人Living in Peace 広報担当 金子(カネコ)

lip@securite.jp

CHC(本年11月より「サミック」に名称変更)について

CHCは2005年9月にマイクロファイナンス機関としての認可を受け、現在、9つの支店で1万人以上に金融サービスを提供しています。カンボジアにある18のマイクロファイナンス機関のなかでは11番目と中規模ですが、2005年から2008年の間に、売上高は8倍、純利益は30倍以上に成長しています。

詳細はこちら：<http://www.chcmfi.com/> (英語)

<最高経営責任者 キング・カリヤン氏のコメント>

途上国であるカンボジアではマイクロファイナンスは非常に必要とされています。マイクロファイナンスは、政府が行っている貧困削減の後押しにもつながります。日本の投資家の方々が、カンボジアの人々の生活水準向上のために、資金を出してくださることに心から感謝申し上げます。

CARDについて

CARDは1986年にハイメ・アリップ氏(現代表)によって創立され、フィリピンのマイクロファイナンス普及をリードしてきたマイクロファイナンス機関です。現在は、後続して設立された農村銀行(CARD Bank)や共済保険組合(CARD MBA)などとともにグループ組織として活動しています。

CARDは、貧しい女性とその家族に自立的、包括的なサービスを提供したとして、2008年に、「アジアのノーベル平和賞」と呼ばれる「マグサイサイ賞」を受賞。2009年5月31日現在、885,699人にサービスを提供し、融資残高は約60億円(2,966,680,568リアル)、返済率は99.83%です。

新興マイクロファイナンス機関の支援も進めており、CHCに対しては、出資、スタッフ派遣、技術サポートなどを行うなど、全面的にサポートしています。

CARDはLIP、MSと業務提携を結び、ファンドの円滑な運用に必要な現地情報の提供を約束しています。

詳細はこちら：<http://www.cardbankph.com/> (英語)

<最高経営責任者 ハイメ・アリップ氏のコメント>

マイクロファイナンス機関への経済的な支援を通じて、日本の皆さんは、アジアの一員として、貧しい兄弟姉妹に力を貸し、生活の経済水準を改善することができます。私は、LIPがスポークスパーソンとなるマイクロファイナンス機関への経済的支援を強く推奨します。

LIPについて

LIPは、2007年10月28日に設立されたNPO法人です。企業で働く若者を中心に、すべての人にチャンスを提供することで貧困の削減を目指しています。これまでに、マイクロファイナンスの商業化をテーマにしたフォーラム「マイクロファイナンスの新地平」などを開催しました。

詳細はこちら：<http://www.living-in-peace.org/>

<代表 慎 泰俊のコメント>

サミックは、国内の公衆衛生セクターで活動していたNGOが母体になっているマイクロファイナンス機関です。貧困の削減と営利の追求という目標を、現在まで高い水準で両立させている、素晴らしいマイクロファイナンス金融機関です。現地でのフィールドスタディやデューデリジェンスを通じて、改めてその思いを強くしています。今後も、サミックとの交流やフィールドスタディを通じて、日本の皆さんに、現地のこれまで誰からも代弁されてこなかった人々の声を届けることに力を注ぎたいと思います。

ミュージックセキュリティーズについて

当社のミッションは、一人ひとりが大切と思うことを実現できる社会のための新しい資本市場を構築することです。価値観が多様化・国民単位のコンセンサスを得ることが難しくなり、政府・行政の役割が限定されつつあります。こうしたなか、市場においても、短期的な収益性のみならず、個人一人ひとりの価値観でも事業が評価されることで資金が流れる、新しい資本市場の構築を目指しています。

<代表取締役 小松 真実のコメント>

日本初のマイクロファイナンス貧困削減投資ファンド「カンボジアONE」の募集を開始できることを嬉しく思っています。

当社が提供している「セキュリテ」を通じて事業者の方に届けるお金は、政府や機関投資家といった方からの大きな資本ではなく、大勢の個人投資家の皆様の思いのこもったマイクロマネーが集結した「まとまった温かい資本」です。ここでも、利回り以外、金銭以外の個人にとっての「リターン」があるはずで。

こうしたマイクロマネーを、カンボジアにいるプロフェッショナルのマイクロファイナンス機関サミックに届けます。サミックは顧客に対してケアにケアを重ねることで、高い返済率と、生きた資金の使い方が実現できるのだと思います。

誰でも参加できるこの仕組みを通じて、ぜひ多くの方に参加していただきたいと思っています。

「セキュリテ」について

生活者は、「セキュリテ」を通じて1口1万～5万円などの小額のお金を出資することで、金融資産を増やすためだけでなく、大切に思うもの・共感できる事業者を直接応援することができます。

「セキュリテ」を利用する事業者は、MS社が築いた投資ファンドの手法と個人投資家の会員ネットワークを活用して、事業者自身でファンドをつくることができます。生活者に対して実績や想いを訴え、共感を得ることができれば、インターネットを通じて一人ひとりの投資家から、小額の投資でリスクを限定させた形で、事業単位の資金を集めることが可能です。これまでの、土地などの不動産を担保にした借入や、株式の公開に加わる新しい資金調達手段となります。

MS社は、第2種金融商品取引業者の第三者的な立場として、ファンドの組成・販売・運営の専門業務を担うことで、資産を有効に活用したいと願う生活者と、持続的な成長のために資金を必要とする事業者をつないでいきます。

「セキュリテ」：<http://www.securite.jp/>

会社名	ミュージックセキュリティーズ株式会社
所在地	東京都千代田区丸の内一丁目1番地3号
設立日	平成13年11月26日
資本金	1億7,260万5,300円
代表者	代表取締役 小松真実
事業内容	文化資産証券化事業：音楽ファンド、レストランファンド、純米酒ファンド、農業ファンド 音楽事業：音楽レーベル、アーティストマネジメント、携帯音楽配信サイトの運営など
主要株主	小松 真実、東京海上キャピタル株式会社、ウィルキャピタルマネジメント株式会社 住友商事株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、信金キャピタル株式会社 他
営業所	東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10F
電話番号	03-5948-7301